おける助け

小布施町社会福祉協議会

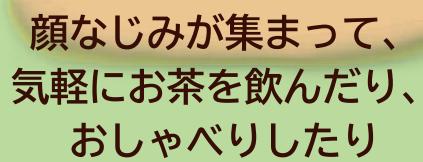
コロナを正しく恐れて、笑顔と元気を取り戻そう!

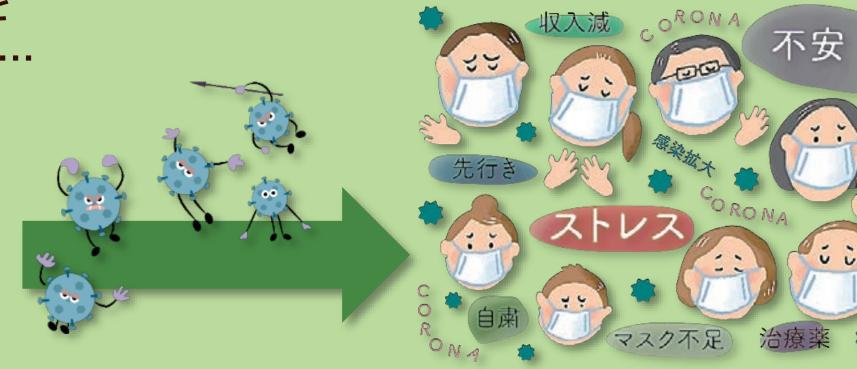
「コロナだから、集まれないよね…」とあきらめていた私たち。でも、感染予防の正しい知識と対策を実践できれば、あきらめ なくてもいいことを知りました。大切なのは、ともに考え、学ぶこと、そして、ともに楽しみたいという気持ち。

元気が でるわ~

去年の1月までを 思い出してみると…







でも、新型コロナウイルス感染症が広がって、 私たちの生活は激変…

もう、ずっと人に 会っていないの



生活支援コーディネーターに

寄せられる声…

社会参加が介護予防には 大切だから、お茶のみサロンを 開催したいんだけど…。



お茶のみサロン

…やってもいいのかな…? …やらない方がいいのかな…?



どうしたらいいの~!

NPO 法人 issue+design 開発 感染予防対策プログラム

正しい知識と 対処スキルを、(・」・ 地域の皆さんと 一緒に学ぼう!【【【

感染予防 Play!とは…】

新型コロナウイルスの感染拡大下において、人が集まる場を運営する組織には適切な感染予防策の実施が求められるが、 自らのおかれた環境下で、必要な予防策を講じることはなかなか難しい。

人が集う場を運営する方々が、ガイドライン等も参考にしながら「自らが運営する場の適切な感染予防策を構想する力」を 養うことを目的に開発されたプログラム。医師等、専門家が監修し、正しい知識と対処スキルをゲーム感覚で学ぶことが できる。

ともに楽しむために・ともに考え・ともに学ぼう

"感染予防講座"を 開催したよ!

思美艺力





明6年から再間ほよら

情報を積極的に再対人れます

無理には誘わず事れる人だけで

・集まることが大事にいことだって、発生なったが大事にいことだってきることをもったらう

私たちが学んだこと 大切なのは、

★感染予防の正しい知識を学ぶこと

★安心して活動を行うために、誰かではなく 一人ひとりが、それぞれの生活する環境に あった感染予防対策を考え、実践すること ★情報交換で、不安な気持ちを減らそう!

■ 全お茶のみサロン(9サロン)の運営者19名が出席

STAGE 1…WARM UP 【ゲームでバトル】

「架空スーパーマーケット」を場面に、身近な生活 の中で、どこに気をつけてどんな感染予防対策 をしたら良いか、仲間と感染予防対策のイメージ を広げます

STAGE 2…KNOWREDGE 【正しい知識】

「感染症予防の基礎知識」を、元諏訪中央病院の 奥知久医師から、動画で楽しく・正しく学びまし

STAGE 3…PRACTICE【練習】

事例の写真を参考に、自分たちが関わる「お茶の みサロン」は、どんな感染リスクがあるのか、どん な感染予防策をとる必要があるのか考えました

STAGE 4…ACTION【実 行】

知識を持ち帰って、学んだ仲間と一緒に行動。 サロンを"やる or やらないも"、学んだことを 踏まえて、自分たちで主体的に考えて実践!

怖いという感情は、

まだある

こんな声・活動につながりました



私たちのサロンでは、 やっぱり熱いお茶が飲みたいの。 消毒や換気、感染予防をこれまで以上に

気をつけて開催しています

屋内から屋外へ。 りんご箱のベンチに腰掛けて歌を

歌ったよ。おしゃべりは控えて、 映画上映会をやりました

コロナ禍で空いている 美術館の中庭で体を 動かそう

自分たちの想に

長野県小布施町 第1層生活支援コーディネーター 小布施町社会福祉協議会 伊藤・馬場 電話:026-242-6665





今までも言語っていまかっまことけるである。ですに

ワクチン接種終了後、 みんなに再会したい!

> 今日の学びを、サロン の仲間で共有する。 中止しない!